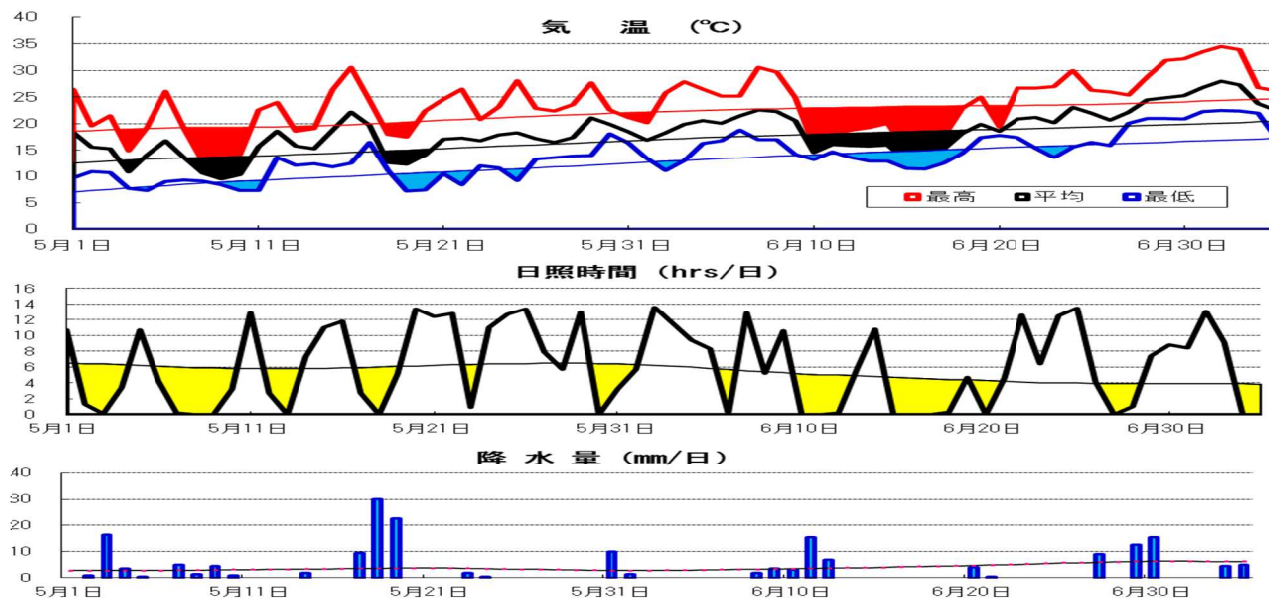


～～排水対策の徹底、適期中耕培土、雑草防除対策～～

1 気象経過



- ・ 5 月 6 半旬の平均気温は、平年より 2.0℃高く 18.4℃であった。日照時間は平年比 112%と多照で、降水量は平年比 55%と少雨となった。
- ・ 6 月の気温は、中旬が低温で、特に第 3 半旬の平均気温が平年より -6.2℃と低くなったが、下旬には回復し、平年より平均気温で 2～4℃高温となった。
日照時間も中旬は寡照であったが、その他の期間は多照となった。降水量は第 3、6 半旬以外は少雨傾向であった。

2 生育状況

(古試作況試験圃)

- ・ 播種後は気温が高く乾燥したため、一部圃場で出芽は緩慢であった。その後は 6 月中旬を除いて高温傾向で、出芽日数は平年より 1～2 日早かった。
- ・ 土壌乾燥により出芽揃いは平年より悪く、その後の初期生育にも不揃いな株が見られる。

出芽状況

品種名	播種期 (月/日)	出芽期 (月/日)	出芽日数		
			本年	前年差	平年差
タンレイ	5/25	5/31	6 日	1 日早い	1 日早い
タチナガハ	5/25	6/1	7 日	同日	1 日早い
ミヤギシロメ	5/25	5/31	6 日	1 日早い	2 日早い



5/31 播種 好ナガハ

- ・ 主茎長は、26～29cm で平年より 2～3cm、前年より 3～4cm 長かった。
- ・ 主茎節数は、8.0～8.4 節で平年より -0.1～0.8 節と平年並み～多く、前年より 0.2～0.7 節多かった。
- ・ 分枝数は 1.3～1.6 本で、総節数は 11.8～13.6 節と平年並～やや多かった

7月5日付け調査結果（7月4日調査）

播種期	品種名	主茎長(cm)			主茎節数(節/本)			分枝数(本/本)			総節数(節/本)		
		本年値	前年差	平年差	本年値	前年差	平年差	本年値	前年差	平年差	本年値	前年差	平年差
標播 (5/24)	タンレイ	29	+4	+2	8.5	+0.5	+0.7	1.6	+1.2	+0.6	12.8	+2.4	+1.8
	タチナガハ	26	+4	+3	8.4	+0.7	+0.8	1.5	+0.8	+1.0	13.6	+3.4	+4.0
	ミヤギシロメ	28	+3	+2	8.0	+0.2	-0.1	1.3	-0.4	+0.5	11.8	-0.3	+1.2



古試：タンレイ



古試：ミヤギシロメ

今後の管理

1 干害対策

- ・水田土壌の状況を見ながら、過乾燥時には畦間や暗渠を利用して適度な灌水をすることも有効である。
- ・開花時期になったら着莢率を向上させるため、水田機能を生かした畦間かん水などが有効である。

2 湿害対策

- ・排水対策の重要な時期は、①播種直後の発芽期、②根粒着生から開花前までの生育前期と③子実が肥大する生育後期である。
- ・生育後期は、湿害により未熟粒や障害粒が発生するので、登熟を良好にするために排水対策が重要となる。

3 中耕培土

- ・生育期間中は、できるだけ可能な時期に根圏の拡大を図り、倒伏防止をかねて中耕培土をまめに実施する。
- ・圃場の状況を見ながら適切な除草剤の体系的処理で雑草対策を徹底する。

1ヶ月予報

- ・平均気温は高い確率 50%，降水量は平年並または多い確率ともに 40%，日照時間は平年並または少ない確率とも 40%である。
- ・週別の気温は、1週目は平年並または高い確率ともに 40%，2週目は平年並または高い確率ともに 40%，3～4週目は平年並または高い確率ともに 40%である。

【気 温】	東北地方	20	30	50
【降 水 量】	東北太平洋側	20	40	40
【日照時間】	東北太平洋側	40	40	20

◆週別気温経過の各階級の確率(%)

1週目	東北	20	40	40
2週目	東北	20	40	40
3～4週目	東北	20	40	40

■ 低,少 ■ 並 ■ 高,多